



平成27年10月13日(火) 第285号



出前講座「災害の恐ろしさ」について ～八戸サイエンスを語る会10名が受講～

10月4日(日)、八戸サイエンスを語る会の方々約10名が、八戸ポータルミュージアムはっちにて「災害の恐ろしさ(東日本大震災を通じて)」と題した出前講座を受講しました。

講座では、当事務所の木村調査第一課長により「東日本大震災」「平成23年台風15号による馬淵川の出水」「防災・減災に向けた取組」「青森県の活火山と減災対策」「河川の現状と課題」や「気候変動の現状」など、多岐分野にわたる説明を大型スクリーンを使って実施し、参加された方々は約2時間ほどの講座を真剣な表情で受講していました。



講義の様子(左下：講師 木村調査第一課長)



受講者の様子

なお、受講者である八戸サイエンスを語る会が実施した、参加者アンケートにおいて『日常生活の中で、「温暖化」対策を個々人でも、社会でも進めていくべきである、と強く思いました。』『川の管理についてよくわかった。東日本大震災について再考できた。』などの感想が寄せられました。

がんばろう！東北

青森河川国道事務所HP

<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/index.html>